

2025年度全日本アマチュアゴルフ選手権

西日本地区予選

開催月日 2025年4月21日（月）

開催場所 瀬板の森北九州ゴルフコース

〒806-0048 福岡県北九州市八幡西区樋口町8-1 TEL (093) 622-6001

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、下記【ローカルルール】と【競技の条件】を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は、プレーヤーへの通知文書、または競技会場で掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2罰打）」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ
アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 異常なコース状態
修理地は青杭または白線で境界を表示する。
3. クラブと球の規格
 - i) プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。(ローカルルールひな型G-1)
 - ii) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。(ローカルルールひな型G-3)
 - iii) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き 46 インチの長さを超えるクラブを使ってはならない。(ローカルルールひな型G-10)

これらのローカルルールの違反に対する罰：失格
4. プレーの中断
プレーの中断と再開には乗用カートに積載されているGPSナビによって通知する。
注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。
5. 練習
終了したばかりのパッティンググリーン上やその近くで練習することを禁止する（ローカルルールひな型I-2）を適用し、規則5-5bは次の通り修正される。
2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。但し、前半（ハーフ終了後）待ち時間のある場合は指定された練習グリーンにおいてパッティングの練習をする事が出来る。
6. 移動
本競技はセルフプレーとし、プレーヤー及び用具の移動は、全組ともプレーヤーが1台のリモコン式乗用カートを共用して行うものとする。
尚、カートに積載されているナビゲーションシステムは共用し使用する事が出来る。
7. キャディーの使用
キャディーの使用を禁止する（ローカルルールひな型H-1.1）を適用し、規則10.3は次のように修正される。
 - ・プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならない。

競技の条件

1. 参加資格
プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
3. スコアカードの提出
プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。
4. タイの決定
18ホールを終わり予選通過者にタイが生じた場合は、「マッチング・スコアカード方式」により通過者を決定する。
5. 競技の終了
成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
6. 競技の短縮
委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、競技規定に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

注 意 事 項

1. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
2. 競技委員会は全ての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とする事が出来る。
3. 組合せスタート時間は別紙のとおりとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコース（Tel093-622-6001）に連絡すること。
4. プレーの進行は、ハーフラウンド2時間15分以内とすること。先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
（トラブルがあって遅れた場合はその組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務がある）
5. スコアカードは指定されたものを競技委員より受領し、プレー終了後速やかに提出すること。
6. 救済を受ける際は如何なる場合も、ボールが元あった箇所にマークすること。
ボールを拾い上げた後、元の箇所がわからなくなった場合はペナルティの対象になる場合がある。
7. コース内での携帯電話の使用は緊急時以外（カートの故障・怪我等）禁止する。
※コース内では必ず電源をOFFにすること。
※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
8. 正規のラウンド中、ギャラリー等との接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、ペナルティを課すので注意すること。
9. 使用ティーマーカーは青色（バックティー）とする
10. 溝とパンチマークの規格
本競技は2010年1月1日施行の『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』を適用しません。※但し、本競技に付与されたJGA等他団体主催競技のシード権を行使する場合、本項目の条件が適用される場合があります。詳細は主催団体に各自ご確認下さい。

競技委員会